

日本共産党

# ひめだ高宏三ノ文

NO. 90

10.10.27

## 急に冬がやってきました

26日の午後から急に寒くなりました。近畿に「木枯らしノ号」が吹いたとのニュースに、木枯らしにもノ号、2号とあるのかとビックリ。ますます寒くなります。風邪などひかないようご注意ください。

## 切実な要望にぜひこたえたい

鶴田至弘さん（元・県議・市議）と一緒に訪問したお宅で「議会で何をしてくれるのか」と聞かれ、私ひめだは、国保料の引き下げや子どもの医療費の無料化の対象年齢引き上げに取り組みたいと答えました。

が介護保険法の実施で廃止されたことや、お年寄りや障害者のバスや銭湯の無料化を実現したことを話し、

みなさんから出される願いを市にたくさんぶつけることが大事だと話しました。

別のお宅では、「2人の子どもがリストラで首にな

り毎日ハローワークに行っている。若い人の働き口を確保するのに力を尽くしてほしい」との要望がありました。

いま共産党は県議・市議団と一緒に「くらしアンケ

ード」に取り組んでいます。これまでのノノの通を超え

る回答では、国保料の軽減（76%）、介護保険の負担

軽減（68%）、特養ホームの増設（54%）、若者の雇用対策（50%）の要望が多

く寄せられています。

身近な問題では、バス路線の減便や廃止に対する改善や対策を定めるものがありました。

## こんにちは

県会議員の  
**ふじい健太郎**  
（その 277）

09年度の決算審査が終わりしました。当初の見込みでは、財源不足が62億円生じ、貯金を取り崩して穴埋めすることになって

いましたが、決算では26億円の黒字となりました。財政状況が悪化すると、

国からイエローカードやレッドカードを突きつけ

られますが、そういうこともないようです。

しかし、県税収入は前年度より200億円減り、その分、県債（県の借金）が240億円増え、借

金残高は過去最高の8732億円（県民1人あたり87万円）に。将来、税収の増が期待できなければ、借金がえしで県財政が圧迫されることになり

ます。

税収を増やしていくためにも、雇用の創出や働く場づくり、賃金の引き

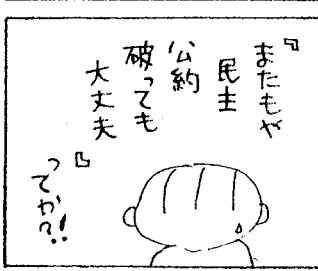
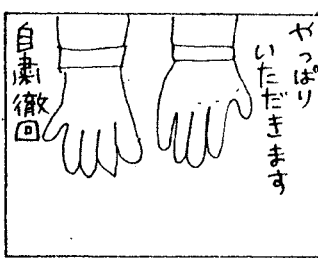
上げが大事になってきますが、雇用創出の予算は

20%も使い残り、雇用創出数は全国下から2番目

という状況です。しっかりと仕事をやるように求め

ました。

## フリーの人々



ふじい健太郎  
県会議員

# トコナシ 大切に

ほうよしかずさんの  
メッセージ

私は長い間労働運動に携わってまいりましたが、今ほど労働者が粗末に扱われている時代はありません。少し景気が悪くなると「明日からこなくていいです」と解雇される。仕事を失うと同時に住む家まで失う。人を景気の調整弁として扱う。こういう政治は皆の力で変えなければなりません。社会人になると同時に失

業者になつてしまふ高校生。人口減に歯止めがかからず、増える限界集落。和歌山の人口は百万人をきりました。これは、雇用、福祉、農林水産業を切り捨てる政治が続いてきたからです。県政に必要なのは「強いところを強くすればいいか」は県民に「という従来型の政策ではなしに、「県民を大切にし、福祉を充実させるこ

と」です。そして、農林水産業や地場産業を和歌山県の基幹産業に位置づけることではないでしょうか。県民に「めたい政治から人と暮らしを大切に政治へ。豊かな資源がイキキとつかさされる和歌山県をつくるため、多くの県民のみなさんといっしょになつて全力で頑張ります。洞 佳和 (和歌山県地評ニユースNo.425、10・18付けより)

## こんにちは 日本共産党



「企業団体献金の受け入れを再開する」との民主党政方針には閣内からも批判の声が出ています。去年の総選挙で民主党は「3年以内に禁止」と

の公約を掲げて、政権につきました。ただちに、公共事業を1億円以上受注している企業からの献金受け入れを自粛し、今年に入ってから、自粛対象をすべて

で「企業献金の受け入れ再開」を決めるとは公約など、どこ吹く風というところですが、誰でも「やっばり消費増税はアカン」事、法律がどうあろうともやっばりありません。日本共産党は企業団体献金が政治をやがめ、腐敗の温床と考えて、「禁止」を実行しています。

ほうよしかずさんは、県地評などの労働組合、民主団体と個人や日本共産党で構成している「ゆたか」で住みよい和歌山県をつくる会から11月の知事選挙に立候補し、県政革新をめざし奮闘しています。

## 党県議団の活動と実績パンフ

約10年の日本共産党和歌山県議団の「活動と実績」パンフ(Ｂ5版20頁)が出ています。福祉、教育、雇用、中小企業支援、農林漁業振興、防災、公共交通、地デジ、県政のゆがみを見たし、県民の願いを県政に届ける党県議団の活動をまとめたものです。読んでいただける方は、ひめだ高栄まで(連絡先は欄外に)

**日本共産党 後援会行事のお知らせ**

**11月7日(日)**  
午後2時～  
和歌山漁協事務所  
県政、市政を聞く  
ついでに  
ふじい県議とひめだがお話します。  
和歌山後援会主催

**12月5日(日)**  
午前11時～午後3時  
紀三井寺・地場産センター  
ふじい・ひめだの選挙  
喜をおぼろ!!  
おいく楽いっせい  
参加費600円(食費代)  
贈答券、うた、三線演奏  
南70.2後援会

## やっばり消費増税はアカン

「誤解だらけの「消費増税不可避論」に異議あり」のコーナーにひか水、斎藤豊男さんの「消費増税の力」(ワクリ)の講談社現代新書(756円)を買いました。消費増税が戻し税で輸出大企業をもつけさせる一方で、中小零細業者を壊滅させ労働者の働き口をもなくすことや非正規労働者を増やす仕組みがリアルに示され、消費増税の歴史や増収増の仕方など読み応え十分でした。